

# 各項目の取組状況

—世界銀行Doing Business 2018評価の分析と評価改善に向けた取組の方向性—

## 【納税】

財務省

# 「納税分野」におけるこれまでの取り組み

- ◆ 制度の改善に加え、評価にかかる事実誤認を世銀に毎年インプット。
- ◆ さらに、アンケートの運用について、改善を積極的に申し入れてきた結果、順位は大幅に改善。DB2018において、「納税分野」はビジネス環境改善につながった改革として挙げられている。

アンケート方法改善を申し入れた結果、納税時間は2分の1に

	納税分野全体	①税引前利益に対する税・社会保険料負担率	②納付回数	③納税に要する時間	④申告後手続きに要する時間
DB2016 OECD34カ国中 (世界190ヶ国中)	32位 (121位) 【67.16】	29位 【51.3%】	30位 【14回】	33位 【330時間】	-
DB2017 OECD35カ国中 (世界190ヶ国中)	29位 (70位) 【77.03】	24位 【48.9%】	30位 【14回】	20位 【175時間】	27位 【78.91点】
DB2018 OECD35カ国 (世界190ヶ国中)	29位→ (68位↑) 【76.71】	23位↑ 【47.4%】	30位→ 【14回】	18位↑ 【151時間】	26位↑ 【71.69点】

## これまでの取り組み

### <アンケートの運用改善>

- 2016年以降、アンケートの内容や運用について分析の上、改善を世銀に申し入れ。
  - ✓ 納税分野のアンケートの回答者が非常に少ないことが推測されたため、回答者数の増加を申し入れ。
  - ✓ 「納税に要する時間」の項目はアンケート結果の影響が大きい一方で、アンケート内容の解説が不十分であったため、世銀に申し入れを実施。2016年以降、「アンケートの和訳」・「解説書」・日本向けの「解説書の解説書」を世銀から回答者に提供。
- DB2016年の330時間からDB2018年には151時間まで大幅改善。

### <制度の改善インプット>

- 毎年3-4月頃に、世銀に対して各国から政策をインプット。DB2018では法人実効税率の引下げ（2016年3月申告）、雇用保険料率の引下げ、e-Taxの更なる機能改善等を提出。

## 「納税分野」にかかる分析と今後の取り組み①

- ◆ 納税分野については**各国の税務専門家によるアンケートへの回答をもとに世銀が分析・順位付け**。世銀が設定した各国比較のためのモデル企業（中規模法人）について、各項目に回答する形式。
- ◆ 順位は他国の順位変化にも影響を受け、制約のある点も多いが、**更なる順位改善を目指し、各分野について以下のような取り組みを進める**。

### 税引き前利益に対する税・社会保険料負担率

#### <計測方法・DB2018における結果>

- 一定のモデル企業が負担する税・社会保険料の負担率をアンケートにて回答。
- **国税16.32%、地方税12.54%、社会保険料18.53%**

#### <改善のための対応案>

##### 【制度・手続きにおける改正のインプット】

- DB2018で順位上昇に寄与した項目について、更なる改正があったため、これらをDB2019に向けて世銀にインプット（**法人税率の引下げ（2016年度改正分：23.9→23.4%）、雇用保険料率（事業主負担）の引下げ（0.7%（2016年度）→0.6%（2017年度））**）。

##### 【アンケートの運用改善・事実誤認の修正】

- アンケートのモデル企業について、適用することとしてもよい租税特別措置の範囲の明確化（国によって適用している特例に差がある可能性）。

#### <計測方法・DB2018における結果>

### 納付回数

- 税目数及び社会保険料の数（他の税目と同じ申告書で申告し、同じ納付書で支払うことができるかも加味）
- **計14回（国税6回、地方税6回、社会保険料2回）**

#### <改善のための対応案>

##### 【アンケートの運用改善・事実誤認の修正】

- 現在、**減価償却固定資産と不動産に係る固定資産税**が、同時納付できるにもかかわらず回数が2回と数えられているため、この点修正→**納付回数カウントが1回減となり、順位上昇に寄与する可能性**。
- **法人税と地方法人税等、同一の申告書で申告することができ、納付も同じタイミング、かつ同一の場所**でできるものについては、**カウントを1回にすべきと考えられる**。この点、世銀に申し入れ。

# 「納税分野」にかかる分析と今後の取り組み②

## 納税に要する時間

### <計測方法、DB2018における結果>

- 一定のモデル企業について、法人税、消費税、社会保険料の申告準備・申告・納付に要する時間の合計。
- 計151時間（法人税38時間、消費税21時間、社会保険料92時間）

### <改善のための対応案>

#### 【制度・手続きにおける改正】

- クレジットカード納付の開始等について、DB2019に向けて世銀へインプット予定。
- 規制改革推進会議「行政手続コスト削減のための基本計画」に基づいて手続きの簡素化を推進（国税・地方税の電子的提出の一元化、認証手続の簡便化、送信手続の利便性向上等）

#### 【アンケートの運用改善・事実誤認の修正】

##### 法人税・消費税

日々の会計処理に追加して申告準備に要する時間は少ない点や、納税額の計算は申告書作成と同時になされるため、別途の時間は要しない点を世銀に申し入れ、「解説書」等にわかりやすく記載。

##### 社会保険

- ✓ アンケートの回答者に、社会保険手続きの専門家である社会保険労務士も加えるべきである旨、世銀に申し入れ。
- ✓ 厚生労働省において、以下のような点について、「解説書の解説書」に盛り込む等の措置を世銀に申し入れ。

- モデル企業の条件（規模、従業員の異動なし等）を前提とした場合に必要となる社会保険手続きの内容、及びそれらが電子申請で受付可能であること。
- 行政機関が保有する情報が既に入力されている申請書を送付し（ターンアラウンド）、事業主における入力が簡易に済ませられる方策を講じていること。
- 既存の企業会計処理からデータを抽出するだけで申告書が作成される場合がある等、申告書準備時間が短時間で済むシステムになっていること等。

## 申告後手続きに要する時間

### <計測方法・DB2018における結果>

- 一定のモデルシナリオにおいて、1) 消費税の還付手続き、2) 還付受け取り、3) 法人税の税務調査手続き、4) 法人税の税務調査終了までに要する時間をアンケートの回答に基づき世銀が点数化。
- DB2018では、上記4)の時間が増加（5.4週間から18.3週間）したことにより、点数も低下。

### <改善のための対応案>

#### 【アンケートの運用改善・事実誤認の修正】

- 法人税の税務調査終了までの時間は、納税者の協力度合いや把握する問題点によって大きく異なることから、「解説書」等に、税務調査期間終了までの時間にどのような時間が含まれるのか明示すべきと考える。指標の一つである税務調査割合も、実際の実調率を踏まえると実態を表していない可能性がある。この点、世銀に申し入れ。

# (参考) 納税分野における各指標の順位

納税分野全体

税引前利益に対する  
税・社会保険料負担率

納付回数

納税に要する時間

申告後手続きに要する時間

順位	国名	得点
1	アイルランド	94.46
2	デンマーク	91.22
3	ニュージーランド	91.08
4	フィンランド	90.14
5	ラトビア	89.79
6	エストニア	89.56
7	カナダ	88.05
8	スイス	87.66
9	オランダ	87.59
10	ルクセンブルク	87.37
11	イギリス	86.70
12	韓国	86.69
13	オーストラリア	85.62
14	スウェーデン	85.28
15	ノルウェー	85.18
16	アイスランド	84.54
17	スペイン	84.44
18	アメリカ	84.13
19	ポルトガル	83.75
20	オーストリア	83.34
21	ドイツ	82.14
22	スロバキア	79.88
23	ポーランド	79.42
24	チェコ	79.26
25	フランス	78.55
26	スロベニア	77.78
27	ベルギー	77.69
28	ギリシャ	76.97
29	日本	76.71
30	チリ	76.17
31	トルコ	72.40
32	ハンガリー	71.49
33	イスラエル	70.35
34	イタリア	68.29
35	メキシコ	67.01
(前年度)		
29	日本	77.03

順位	国名	負担率
1	ルクセンブルク	20.5
2	カナダ	20.9
3	デンマーク	24.2
4	アイルランド	26.0
5	イスラエル	27.0
6	スイス	28.8
7	アイスランド	29.7
8	イギリス	30.7
9	スロベニア	31.0
10	チリ	33.0
11	韓国	33.1
12	ニュージーランド	34.5
13	ラトビア	35.9
14	ノルウェー	37.5
15	フィンランド	38.4
16	ポルトガル	39.8
17	ポーランド	40.5
18	オランダ	40.7
19	トルコ	41.1
20	アメリカ	43.8
21	ハンガリー	46.5
22	スペイン	46.9
23	日本	47.4
24	オーストラリア	47.5
25	イタリア	48.0
26	エストニア	48.7
27	ドイツ	48.9
28	スウェーデン	49.1
29	チェコ	50.0
30	スロバキア	51.6
31	ギリシャ	51.7
32	オーストリア	51.8
33	メキシコ	52.1
34	ベルギー	57.1
35	フランス	62.2
(前年度)		
24	日本	48.9

順位	国名	回数
1	ノルウェー	4
2	メキシコ	6
2	スウェーデン	6
3	チリ	7
3	ラトビア	7
3	ニュージーランド	7
3	ポーランド	7
8	チェコ	8
8	エストニア	8
8	フィンランド	8
8	ギリシャ	8
8	ポルトガル	8
8	スロバキア	8
8	カナダ	8
8	イギリス	8
16	スペイン	9
16	アイルランド	9
16	オランダ	9
16	フランス	9
16	ドイツ	9
21	デンマーク	10
21	スロベニア	10
23	アメリカ	10.6
24	オーストラリア	11
24	ベルギー	11
24	ハンガリー	11
24	トルコ	11
28	オーストリア	12
28	韓国	12
30	日本	14
30	イタリア	14
32	スイス	19
33	アイスランド	21
34	ルクセンブルク	23
35	イスラエル	33
(前年度)		
30	日本	14

順位	国名	時間
1	エストニア	50
2	ルクセンブルク	55
3	スイス	63
4	アイルランド	82
5	ノルウェー	83
6	フィンランド	93
7	オーストラリア	105
8	イギリス	110
9	オランダ	119
10	スウェーデン	122
11	デンマーク	130
12	オーストリア	131
12	カナダ	131
14	ベルギー	136
15	フランス	139
16	アイスランド	140
16	ニュージーランド	140
18	日本	151
19	スペイン	152
20	ラトビア	168.5
21	アメリカ	175
22	韓国	188
23	スロバキア	192
24	ギリシャ	193
25	トルコ	215.5
26	ドイツ	218
27	イスラエル	235
28	イタリア	238
29	メキシコ	240.5
30	ポルトガル	243
31	スロベニア	245
32	チェコ	248
33	ポーランド	260
34	ハンガリー	277
35	チリ	291
(前年度)		
20	日本	175

順位	国名	得点
1	エストニア	99.38
2	オーストリア	98.54
3	ラトビア	98.11
4	ドイツ	97.67
5	ニュージーランド	96.90
6	オーストラリア	95.34
7	アメリカ	94.04
8	スペイン	93.60
9	フィンランド	93.09
10	韓国	93.04
11	アイルランド	92.93
12	ポルトガル	92.71
13	フランス	92.40
14	オランダ	91.95
15	チェコ	90.75
16	スウェーデン	90.75
17	デンマーク	89.06
18	アイスランド	87.20
19	スロバキア	87.17
20	ルクセンブルク	83.75
21	ベルギー	83.45
22	スイス	83.21
23	ポーランド	77.36
24	ギリシャ	75.70
25	カナダ	73.23
26	日本	71.69
27	イギリス	71.00
28	ハンガリー	63.94
29	ノルウェー	63.69
30	イスラエル	61.36
31	スロベニア	59.94
32	チリ	58.36
33	イタリア	52.39
34	トルコ	50.00
35	メキシコ	40.51
(前年度)		
27	日本	78.91